

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2017.11.1

No.171



平成29年市議会第1回臨時会

議会構成を決定

議長に渡辺益巳議員、副議長に村瀬正樹議員

平成29年市議会第3回定例会

平成28年度一般会計ほか各会計決算を認定

議会による事業評価を実施、市長に提言

あい愛バス再編運行記念式典(美濃太田駅)

主な内容

- ◆臨時会の審議結果…………… 2P
- ◆定例会の審議結果…………… 3・4P
- ◆決算審査の概要…………… 5・6P
- ◆委員会審査の概要…………… 7・8P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
議会日誌…………… 9～16P
- ◆議会日誌
可決された意見書…………… 17P
- ◆行政視察の報告…………… 18・19P
- ◆活動ピックアップ
お知らせ…………… 20P

臨時会の審議結果

平成29年

第1回

臨時会

議長に渡辺益巳議員、副議長に村瀬正樹議員、議会の新体制決まる

10月20日に、市議会第1回臨時会を開催しました。

一般会計補正予算等の議案の審議、正副議長の選挙、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などを行い閉会しました。

新たに議長には、渡辺益巳議員、副議長には、村瀬正樹議員が当選されました。また、議会選出の監査委員については、新たに牧田秀憲議員が選任されました。その他の議案、詳細は下記のとおりです。



議長
渡辺 益巳



副議長
村瀬 正樹

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいる所存です。
市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
承第10号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第6号)	2,028万円の増額、予算総額は212億6,598万7千円 10月22日の衆議院議員選挙に係る経費の増額補正	原案可決(全会一致)
議第65号	和解について	中学校の廃棄パソコンハードディスク及びデータが流出した事案に関する地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づく和解の決定	原案可決(全会一致)
議第66号	議長辞職の件	議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第3号	議長の選挙	議長辞職に伴う選挙	渡辺益巳議員 当選
議第67号	副議長辞職の件	副議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第4号	副議長の選挙	副議長辞職に伴う選挙	村瀬正樹議員 当選
議第68号	監査委員の選任	監査委員の辞職に伴い、新たに牧田秀憲議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
選第5号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	渡辺益巳議員 渡辺孝男議員 当選

各委員会の構成

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

議会運営委員会

委員長：佐合 広和 副委員長：坂井 知足
委員：渡辺 義昌 森 弓子 前田 孝 渡辺 孝男

文教民生常任委員会

委員長：渡辺 孝男 副委員長：日置 祥子
委員：酒向 信幸 森 弓子 柘植 宏一 坂井 知足 高井 厚 村瀬 正樹

企画建設常任委員会

委員長：渡辺 義昌 副委員長：金井 文敏
委員：牧田 秀憲 片桐 美良 前田 孝 佐合 広和 山田 栄 渡辺 益巳

議会選出監査委員



新たに選任された
牧田 秀憲議員

平成29年

第3回

定例会

平成28年度一般会計

ほか各会計決算を認定

市議会第3回定例会は、8月30日に開会し、9月22日までの会期24日間で開催しました。

初日は、23議案を上げし、契約の締結(議第60号)、人事案件(議第61号・諮第2号)、意見書(議第62号)については、提案説明・質疑・採決を行い、その他の議案については、提案説明、決算関係議案については、監査報告が行われました。

9月6、7、8日は、代表質問を含め、15人の議員が一般質問を行いました。

11日には、各議案に対する質疑・委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、13、14日に予算決算特別委員会、14日に文教民生常任委員会、15日に企画建設常任委員会を開催しました。

22日には、各議案に対する委員長報告・討論、追加された各議案(議第63・64号、選第2号)の採決を行い閉会しました。

議案 クローズアップ

承第9号

専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)

議案の概要

1,730万7千円の増額 7月14日豪雨の被害を受けた施設等の復旧に関する増額補正

崩壊土砂の撤去、応急対策用のブルーシートの購入、農業施設や河川護岸ブロックの復旧工事のほか、災害対策事業(個人が被災し、自治会等が撤去を行った費用の一部を助成する制度)等を増額補正したものです。

地方自治法の規定により、7月25日に専決処分(議会の議決の前に処理すること)されたもので、今議会で報告を受け、承認となった。



市内の豪雨被害状況

議第60号

西体育館建替本体工事の請負契約の締結

議案の概要

西体育館建替本体工事を行うもの。1階部分にバドミントンコートが3面とれる広さのアリーナの他に、ミーティングルーム2部屋と21畳の和室、2階部分には140畳の柔道場を設ける。予定価格が1億5,000万円を超える契約であるため、議会の議決が必要となる。

契約金額：3億8,556万円
請負者：株式会社ワタケン・ホーム
工期予定：平成31年3月25日まで



西体育館完成イメージ図

定例会の審議結果

議案の審議結果

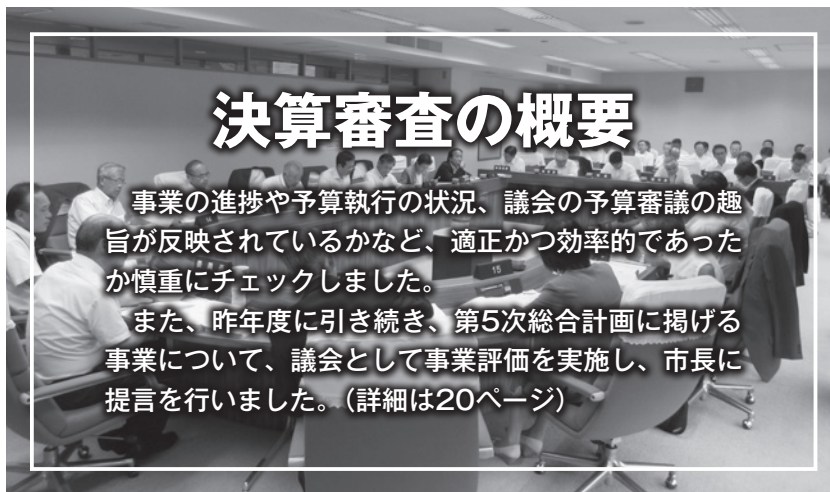
全会一致で承認・可決・認定された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第9号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)	1,730万7千円の増額、予算総額は208億2,194万1千円 7月14日豪雨の被害を受けた施設等の復旧に関する増額補正(詳細は3ページ)
議第52号	美濃加茂市都市公園条例の一部を改正する条例	都市公園として新たに中之島公園を設置するため所要改正
議第53号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	市長の附属機関として空家等対策審議会を位置付けるとともに、非常勤の特別職職員報酬等についての所要改正
議第55号	平成29年度美濃加茂市一般会計補正予算(第5号)	4億2,376万6千円の増額、予算総額は212億4,570万7千円 財政調整基金への積立金、昨年度分の福祉医療費助成事業の精算に伴う返還金、後期高齢者医療療養給付費の精算に伴う追加負担金、健康の森整備、かわまちづくり整備事業追加工事等の増額補正
議第56号	平成29年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第1号)	2,649万5千円の増額、予算総額は65億7,225万6千円 療養給付費等負担金の超過分を返還等の増額補正等
議第57号	平成29年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第1号)	保険事業勘定1億24万6千円の増額、予算総額39億8,600万2千円 介護給付費準備基金への積立、介護給付費負担金、地域支援事業交付金の返還等の増額補正
議第58号	市道路線の廃止	市道正理インター線の廃止
議第59号	市道路線の認定	市道西町512号線ほか9路線の認定
議第60号	西体育館建替本体工事の請負契約の締結	請負契約の締結について条例の規定に基づき議会の議決に付すもの(詳細は3ページ)
議第61号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命	任期満了に伴う後任委員の任命同意(手嶋秀人氏 新任)
議第62号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	同法律の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続されるよう国へ求めるもの(全文は17ページ)
議第63号	美濃加茂市副市長の選任	任期満了に伴う副市長の選任同意(伊藤誠一氏 新任)
議第64号	全国森林環境税の創設を求める意見書	森林・林業・山村対策の強化をはかるため「全国森林環境税」の創設を国へ求めるもの(全文は17ページ)
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦(今井直樹氏 再任)
認第5号	平成28年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会計歳入歳出決算認定	歳入3,566万7,137円 歳出3,283万4,281円
認第6号	平成28年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定	歳入 128万5,663円 歳出101万3,964円
認第7号	平成28年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定	歳入 103万358円 歳出68万9,274円
認第8号	平成28年度美濃加茂市水道事業会計決算認定	収益的収支 収入15億3,926万6,203円 支出12億7,726万919円 資本的収支 収入 1億1,401万8,630円 支出 5億9,254万7,549円
認第9号	平成28年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定	収益的収支 収入23億9,316万6,074円 支出22億5,166万41円 資本的収支 収入 9億8,026万4,040円 支出15億8,926万3,019円
認第10号	平成28年度可茂広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算認定	歳入5,440万962円 歳出5,440万962円
選第2号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	岐阜県後期高齢者医療広域連合規約第8条第1項の規定により選挙を行うもの(伊藤誠一氏 当選)

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																		
			渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	渡辺義昌	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄			
議第54号	美濃加茂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○
認第1号	平成28年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定 歳入217億3,866万6,447円 歳出203億2,037万8,995円	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○
認第2号	平成28年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定 歳入61億4,274万8,812円 歳出59億9,502万7,291円	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○
認第3号	平成28年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定 歳入37億5,361万5,518円 歳出35億8,104万5,818円	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○
認第4号	平成28年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定 歳入5億5,404万4,463円 歳入5億2,124万4,993円	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○

決算審査の概要



決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。

また、昨年度に引き続き、第5次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました。(詳細は20ページ)

り、今年度は、これらが落ちついたためと考えられる。

問 市営住宅使用料の収入未済額の主なものは。

答 過年度分の滞納額が最も多い。

問 同使用料の収入未済額の回収方法は。

答 滞納者や連帯保証人に対する通知、来庁時の催告のほか、弁護士に相談し、法制度、公平性の面から滞納額を減らしていくことについて検討している。

問 ふるさと納税について、市民が他自治体へ寄附し税控除を受けた金額は。

答 総額約6,800万円、市税等に係る控除額は約2,870万円である。

問 学校給食事業収入が増加した要因とその内訳は。

答 給食を供給した食数が、前年度比で3.1%増加したことによる。小学校は、富加小学校を含め4,167人、中学校は、西・東・双葉中を合わせ1,902人、可茂特別支援学校へ427人供給している。

問 市債において、予算現額が17億1,860万円に対し、決算額が10億円に満たないのは検討の必要があるのではないかと。

答 繰越事業は例外的な取扱いであるため、年度内に事業を完了できるように、チェックしていきたい。

問 総合医療センター用地造成事業における弁護士顧問委託料の不用額の理由と相談件数は。

答 不用額の増加については、当初の事業見込みに対し、順調に進捗したためである。相談回数は2回ほどであった。

問 顧問弁護士の活用について、各自治体の負担金額と算出基準の見直しは。

答 負担金は、本市が124万1千円、坂祝町、富加町が40万5千円、川辺町が34万9千円、七宗町が30万9千円、白川町が39万1千円、東白川村が29万5千円ほどであり、平成29年度についても、同じ割合であるが、算出基準については、新年度に向け検討していきたい。

問 職員健康管理業務のストレスチェック結果及びその効果は。

答 高ストレスやそれに近い状態と診断された職員は9%弱で、全国平均10%よりは若干低めである。また、調査自体を本人が判断し、専門機関への相談の糸口になるのではないかと考えている。

問 職員の病気休職等の取得状況は。

答 平成27年度に比べ、減少している。

問 長良川鉄道経営安定支援事業について、事業費の今後の見直しは。

答 観光列車事業については好調であるが、枕木の交換や線路の修繕の費用など、安心・安全に運行するた

めの必要な経費が掛かり、市が負担する補助金については、増加すると見込んでいる。

問 インترنت事業について、タブレット端末の活用状況は。

答 該当機器の画面が小さいこともあり、当初予定より活用が減少している状況であるが、防災会議や職員が外出する際に、携帯する等で活用されている。

問 タブレットについては、市議会でも導入を決定しているのに、執行部でも対応できないか。

答 積極的に活用できるように、紙媒体との併用も含めて検討していきたい。

問 シティプロモーション事業について、主な実績は。

答 ランチセッション、プレスツアーなどを実施した。また、テレビ、ラジオ、新聞等で30件以上取り上げられ、広告換算額で3億7千万円ほどの効果があった。

問 交通安全対策事業の工事請負費の詳細は。

答 カーブミラーの新設29件、同修繕14件、撤去3件、標識看板の新設3カ所、同修繕8カ所、交通安全柵新設1カ所である。そのほか、路面標示で路肩の着色9カ所、交差点の着色10カ所等を行った。

問 生きがい通所事業について、ふれあいサロン2カ所の通所者は。

答 「福寿草」は、延べ2,566人、

〈一般会計〉

問 法人市民税の減収の要因は。

答 税制改正により、法人市民税の一部が国税化され、税率が下がったこと、国の政策により設備投資減税が行われたことが要因である。

問 地方消費税交付金の減収の要因は。

答 前年度は、増税による駆け込み需要の影響や消費税の納付時期がずれたことによるものと分析しており

るため、年度内に事業を完了できるように、チェックしていきたい。

決算審査の概要

「さわやか」は、延べ3,116人であった。

問 健康会活動事業について、37カ所ある老人クラブの人数は。

答 会員数は1,664人で、昨年度から140人ほど減っている。

問 農林業費の多面的機能支払推進事業の交付金単価の見通しは。

答 今年度は1団体増え、15団体となった。支払いは、農地維持、共同活動及び水路等を長寿命化することに関する単価があり、長寿命化については、内示額が減っているが、農地維持等に関しては、要望どおりとなっている。今後も国の動向を注視したい。

問 みのかも健康の森維持管理事業における、山頂までの管理道路整備の状況は。

答 残り238.4mとなり、事業費は約800万円を見込んでいる。

問 山頂への管理道路の役割は。

答 管理道路が完成すると、老朽化が進む「よろこびの砦」の再整備の事業費が安価になることが見込まれる。

問 平成姫街道事業に伴う起業支援補助金について、実際に支援した件数は。

答 相談件数延べ466件のうち、14人の方が開業された。

問 市内観光推進事業の成果は。

答 ANA総合研究所との協定によるアルザス欧州日本学研究所を通

じたフランス人学生の受け入れを行ったが、その学生がSNSで情報発信された効果が大きかった。また、受け入れ後の報告書でも、様々な提案をいただいたので、今後取り組んでいきたい。

問 消防団活動事業について、現在、操法大会の練習場として中之島公園を活用しているが、今後、整備していく考えは。

答 公園施設の供用開始により利用できなくなるため、中部台の給食センター駐車場を検討しているところである。

問 地域防災力強化事業において、地域防災リーダー育成の重要性についての考えは。

答 防災士の資格取得は有効であると考えている。通常は、4日間の研修参加と費用約6万円が必要となる場合もあるため、PRの際には、その点も含め周知していきたい。

問 教職員研修事業の内容は。

答 各校の課題意識を持った教職員を代表として派遣し、校内で成果を広げていくもので、行き先及び派遣者は画一ではない。なお、予算の範囲内で複数回実施する場合もある。

問 学外講師派遣推進事業の地域人材を活用した学習の具体例は。

答 地域の祭りに関わっている方や高齢者等で、お手玉などの昔の遊びを教えていただけるような方、ホタ

ルの保護活動等で協力いただいている方などの例がある。

問 給食材料費が前年度比1,264万3,700円高くなっていることの原因は。

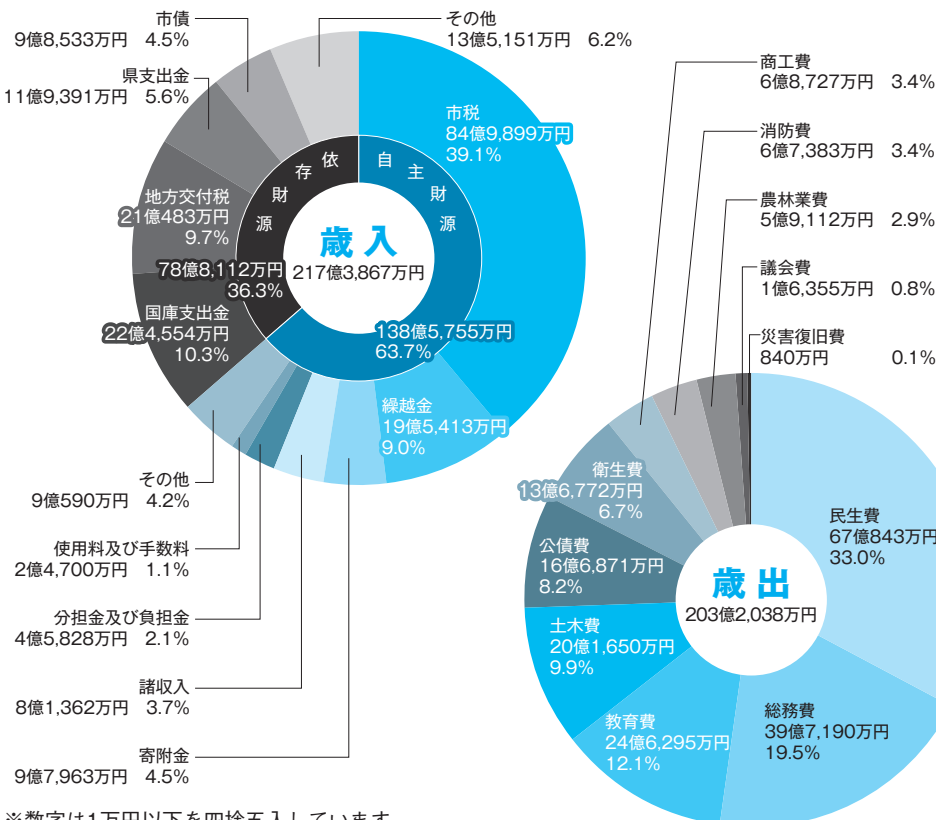
答 食料費が前年度比4%上がっているためである。

《国民健康保険会計》

問 財政調整基金積立金について、調整基金の積み立てが4億円以上あるにもかかわらず、過去5年で最も多く積み立てている理由は。

答 余ったお金を積んでいるわけではなく、運用益が多く出たためである。

平成28年度 一般会計の決算状況



※数字は1万円以下を四捨五入しています。

委員 会 審 査 の 概 要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

文教民生常任委員会

《平成29年度一般会計補正予算(第5号)》

問 食物アレルギー対応給食提供事業補助金について、今回補助対象となった私立2園は、来年度以降も事業を継続されるのか。

答 今回は、当初予算計上時に間に合わなかったため、補正対応したものであるが、2園いずれも継続する予定と聞いている。

問 食物アレルギーのある児童の把握方法は。

答 前年度末に保護者との面談で確認し、年度途中の入園の場合は、随時確認している。併せて、保護者からは、医師の証明書を提出いただき、どの食品を除去するのか、十分確認した上で対応している。

問 公立保育園の献立の内容はどのようなに決定されているか。

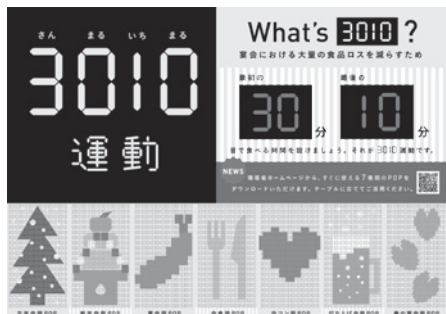
答 公立保育園では、全園から要望を確認し、毎月の園長会にて、委託業者同席のもと、献立の内容を決定している。また、私立保育園へも、

献立表を情報提供している。

問 環境基本計画推進事業について、3010運動の推進における本市の取り組みと今後の計画は。

答 現在、国作成によるチラシなどを配布し、啓発に努めている。今回の補正予算で、運動推進のプラスチック製三角柱を作成する予定である。今後は、市独自のポスター等も作成し、周知を行っていききたい。

※3010運動：宴会等での食べ残しを減らすため、開始30分間と終了10分前は自席に戻り、食事をするという食品ロス削減のための取り組み。



問 清流の国ふるさと魅力体験事業について、本事業の実施に至る経緯及び事業内容は。

答 県の委託事業である本事業は、本市から、県へ働きかけ決定されたものである。事業内容としては、のぞみ教室の生徒約30名を対象に、本市近辺の魅力を知ることとを目的に、中山道会館や杉原千畝記念館、ささゆりクリーンパーク等を見学する予定である。

《平成29年度国民健康保険会計補正予算(第1号)》

問 療養給付費等負担金の詳細は。

答 前年度に国から交付された同負担金が決算の結果、超過となったため、超過額を返還するものである。金額も、本市の医療費全体の状況や国の予算枠にも影響されるもので、年ごとに変動が大きい。なお、来年度以降についても、過去3年間の実績により金額が決定される。

企画建設常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて平成29年度一般会計補正予算(第4号)》

問 災害対策事業自治会等奉仕活動助成金の対象箇所数及び助成までの手続きは。

答 対象は9カ所を想定している。申請方法は、市へ自治会長より申請後に着工し、完了確認後、助成金の交付という流れになっている。

問 平常時の農業用排水路等の点検状況は。

答 地域から不具合等の連絡いただき対応しているが、道路パトロール時にも併せて確認を行っている。

《都市公園条例の一部を改正する条例》

問 条例改正で「行為の制限」として、物品の販売を規定した理由は。

答 公園内でのフリーマーケット等のイベントの実施が見込まれるため、今回改めて規定した。

問 自然環境体験学習館内のシャワールーム利用時間等詳細は。

答 1回の利用時間を20分程度と考えているが、詳細は、指定管理者が決定した後、運営方法を含め決定していく。

問 同館2階の大・小ホールは、どのような用途を想定しているか。

答 大ホールは、研修室や自然学習など研修スペースとして、小ホールは、施設を利用した活動の展示スペースとしての利用を考えているが、様々な用途で活用いただけるようにしたい。

委員 会 審 査 の 概 要

《市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例》

【問】今回設置される「空家等対策審議会」の開催時期及び会議内容等の詳細は。

【答】審議会は、審議事項が発生した場合、随時開催する。委員は、不動産関係団体の専門家等も加え、公平かつ公正に行っていく。また、都市計画課のほか、空き家バンクの開設や空き地の管理等で、全庁的に問題解決に向け取り組んでいく。

《個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例》

【問】今回の条例改正にあたって、市の業務及び市民生活への影響は。

【答】市の業務では、通信ネットワークを活用した情報連携により、業務の効率化が図られる。市民生活においても、行政手続を行う際に、書類添付が省略できる等の利点がある。

【問】特定個人情報の提供範囲が拡大されたことに対する、市の見解及び情報漏えい対策は。

【答】法定事務を補完したほか、市独自の利用事務は、必要最小限度に留めた。また、マイナンバー系のネットワークを独立した回線とするなど、情報セキュリティ強化も図ったうえでの改正である。

《平成29年度一般会計補正予算(第5号)》

【問】公務災害認定事業について、庁舎敷地内で転倒し発生した本事業の、その後の改善策は。

【答】注意喚起の看板の設置やチェーンの色、ポールに蛍光シールを貼る等の措置を行った。

【問】森林空間活用ワークショップについて、事業内容及び今回補正に至った理由は。

【答】健康の森での森林の利活用のため、施設内に新しい遊具の設置を検討するワークショップを実施するものである。今年度途中で地方創生推進交付金の内示があったため、今回補正に至った。

【問】平成公園管理事務委託金の詳細及び来年度以降の事業予定は。

【答】本委託金で、同公園北部未利用地にて、里山を活用した「森の小学校」事業の実施を予定している。今回の事業を検証し、来年度以降の実施について検討していきたい。

【問】かわまちづくり整備事業について、補正の内訳及び工事が現予算で対応できなかった理由と今後の対応は。

【答】補正の内訳は、照明、園路整備、自然環境体験学習館の追加工事などである。今回の補正は、設計単価の把握が十分でなかったことによるものであり、今後の建築工事において

は、資材の流通単価を、設計前に十分確認し対応していく。



自然環境体験学習館の工事の様子

《市道路線の認定》

【問】正理インター線の路線再編の詳細は。

【答】国道418号線の一部が、国道41号線に重複する路線となるため、その区間が市道認定となった。

《「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情》

・現在の岐阜県森林環境税と全国森林環境税が、二重課税とならないよう、十分に配慮された形での創設を求める。

議 会 を 傍 聴 し ま し た

今回の定例会を傍聴された方々からいただいたご意見を掲載します。

- ・初めて傍聴しましたが、美濃加茂市に住んでいながら、知らないことが多いと感じました。色々な制度があり、対処してもらっていることがわかりました。次回も機会がありましたら、ぜひ傍聴させていただきます。
- ・防災の関係の質問がいろいろありました。できることは、すぐにやってほしいです。
- ・防災備蓄は万全にお願い致します。避難所で空調設備が不十分な場所は、早急に整備を望みます。
- ・かわまちづくり整備事業の補正予算がありました。中之島公園に興味があるので、詳しく内容を知ることができ、嬉しく思いました。工事の進み具合を、時々拝見していますので、完成を楽しみにしております。
- ・今議会も多くの議案が採決され、市の前進を感じることができ嬉しい限りです。そんな中で海老副市長の退任を残念に思いますが、これまでの実績を知り厚くお礼を申し上げます。伊藤新副市長にも大いに期待したいと思います。

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

■視聴方法

▶ トップページ ▶

▶ 会議名から選ぶ ▶

▶ 平成29年第3回定例会 ▶

▶ 9月6日、7日、8日 市政一般に対する質問

■会議録検索システム

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



佐合 広和 議員

美濃加茂市の魅力発信

問 ふるさと納税の返礼品にシ

タイプロモーションに繋がる梨狩り体験ツアーや美濃加茂の盆踊り「ダンシング・ヒーロー」の様な企画を取り入れてはどうか。また、加茂郡の町村と連携し、各地の特産品をまとめて返礼品の対象にしてはどうか。

答 議員が提案されたような体験型企画商品の拡大に努め、地域の魅力を肌で感じていただける返礼品を更に充実させたいと考えている。また、定住自立圏構想の共生ビジョンに基づく事業として、首都圏において、共同でふるさと納税推進PR事業が実施できないか検討している。

災害時の後方支援

問 大規模自然災害対策として、

内陸を結ぶ交通の要衝である本市は、津波の心配はない。広域的な災害に対応する後方支援拠点市としての役割を検討する必要があると考えるが、市の所見は。

答 南海トラフ巨大地震発生によ

り、東日本大震災の同様な状況が太平洋沿岸でも想定されるので、後方支援の拠点となりうる候補地を抱える自治体としては、その役割に積極的に関与したいと考えている。

県道の樹木管理

問 県道の街路樹や民地から県道にはみ出している樹木が、交通における市民生活に危険を及ぼしているが、対策は取られているか。

答 県道の通行に危険を及ぼす樹木の情報は、道路管理者の可茂土木事務所に場所等を伝え、対応を依頼している。民地からはみ出た危険な樹木は所有者に伐採を依頼するが、対応されない場合は、県において通行の支障にならない必要最低限の伐採が行われる。



道路にはみ出した樹木

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



渡辺 義昌 議員

総合戦略カミーン

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略カミーン」について、女性が活躍できるまちの実現を目指すし、ライフスタイル、出会い、結婚、妊娠・出産、子育て、教育の各分野に関する取り組みを充実させ、人口問題への対応を図ることを事業としているが、女性に特化した総合戦略か。

答 女性をターゲットにしているが、もちろん男性の理解と協力のもと、将来の美濃加茂市を築き上げていく総合戦略である。

問 市民の認知度は低い。事業を理解し応援していただくためには、市民の協力が重要であると思いが、市の考えは。

答 市民全員が一丸となって、女性を応援することが不可欠である。今後多くの市民や団体へ必要性を発信していく。

問 これからの活動は。

答 カミーンは、平成27年度から31年度までの5年間を対象期間としている。今年度は3年目の中間時期にあたり、一層女性が輝く施策を推進していく。

なお、カミーン推進委員が中心

となって進める具体的な活動として、女性を対象とした講座「カミーンノスタデイルーム第2弾」を9月下旬に開催した。11月には、文化の森で、女性が輝き、笑顔で交流できるイベント「カミーンノフェス」を開催する。

東京2020オリンピック・パラリンピック

問 アスリート達が事前トレーニングできる施設を提供するオンラインガイドに、プラザちゅうたいが卓球のキャンプ地として登録されている。しかし、卓球の候補地は50カ所もあり、難しさも感じたが、今後の方策はあるか。

答 候補地が多くあり、誘致は難しいと感じている。美濃加茂国際交流協会や世界に進出している市内企業などに協力をお願いし、美濃加茂市とつながりのある国に対して、可能な限りのPRを行っていききたい。

問 オリンピックに関連した事業等の予定はあるか。

答 本市に外国人住民が多いことを生かし、スポーツ交流イベント等が実施できないか考えていきたい。



山田 栄 議員

今後の学校教育

問 ICT教育や平成32年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の現況と今後の取り組みは。

答 これまでに、コンピューター等を活用した学習活動の充実を図っており、平成24年度から、小学校へのタブレット端末配置を進め、昨年度で全校へ配置が完了した。また、環境の整備の一環として、電子黒板も導入した。本年度から2カ年計画で、各小中学校の学年に1台配置していく予定である。

学習内容については、中学校では、平成24年度からコンピューターでプログラムを作成し、ロボット等を操作する学習を進めている。小学校では、コンピューターに関する新しい教科を設けず、算数や理科など教科の中でプログラミングを取り入れた学習を意図的・計画的に進め、論理的に考えていく力を高めていくように、指導計画の作成に取り組んでいく。

そのほか、教職員の指導力向上をねらい、プログラミング教育についての教職員の研修を計画的に

位置づけ実施している。
問 英語教育について、本市の考えは。

答 本市は、平成27年度より文部科学省に教育課程の特区申請をし、国の動きよりも先行し市独自で指導計画を作成し、小学校で英語科を実施している。

今後は、市教育委員会として、平成30年度と31年度の2年間の移行期間の計画を示し、全市体制で意図的・計画的に英語教育を推進していく。教育課程の特区として、小学1・2年生は15時間、3・4年生は35時間の英語科を実施し、5・6年生は、来年度からの2年間の移行期間中は、現在の指導時数から15時間増やし、英語科を50時間とし、平成32年度からは70時間実施する。

特に、小学校の英語科は、英語を使って伝え合うコミュニケーション活動を重視して進めていく。そのため、優秀な英語指導の人材確保、講師増員も検討する必要がある。

公共施設

問 西体育館に隣接する消防団詰所の改修は。

答 個別施設計画に基づき、平成32年度に整備予定である。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



日置 祥子
議員

国民健康保険

問 保険料率の見直しにより、1世帯あたり約5千円安くなったことは一定の評価をする。国民健康保険の考え方や原理について、市長の見解は。

答 国民皆保険体制の中核を担う制度として、地域医療や市民の健康増進に大きな役割を果たしている。社会保障の基盤として、被保険者の負担のあり方も検討していく必要がある。

問 「平成29年度の保険料率について」という市のチラシは「保険原理」のみが強調され「社会原理」が抜け落ちている。保険料を納めることができない加入者の受診を委縮させるのでは。

答 保険料を単に下げただけでなく、相互扶助の点からも医療費自体を下げるよう協力していただきたいという趣旨である。

問 モデル世帯の提示例は、保険料が所得の2.5カ月分になる。生活ができないが、滞納世帯率はどうか。

答 平成28年度は11.3%、29年度は8.1%である。

問 東京都東大和市では、均等割

は、多人数世帯の負担が重くなるので、第3子以降は無料としている。来年度以降の保険料値下げの秘策は。

答 県への納付金や激変緩和措置などの適用も踏まえて検討していく。

介護保険

問 高齢者・障がい者の両方に対応できる新たなサービス「共生型サービス」の創設について、本市の対応は。

答 障がい者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所で高齢者も障がい者も共にサービスが利用できるようにするものである。実施にあたっては、必要性を十分に踏まえ検討していく。

問 日常的な医療管理・看取りターミナルなどの機能を持った介護保険施設「介護医療院」についての計画は。

答 都道府県が許可し、来年度から創設される施設である。国の基準がこれから検討されるので、現時点では計画はない。

問 介護利用が負担能力によって決まる現実の認識は。

答 高齢化の進展に伴う保険料上昇を抑える観点から、利用者負担のあり方は、制度の持続性を高めるものである。



村瀬 正樹
議員

豪雨災害の事後対応

問 災害場所の応急処置が、場所によって異なっていた理由は。

答 土砂崩れに伴う土砂の除去、ビニールシートの貼り付け等の応急処置は、崩れた場所の管理者が行うもので、県管理の急傾斜地擁壁上部法面は県、市管理道路は市、個人管理の土地は、その土地の所有者がそれぞれ行ったためである。

問 二次災害を防ぐための市の対応は。

答 民地で発生した崖崩れの復旧は、土地所有者で対応していただくことになる。民地に対し行政ができる対応は、応急復旧や土砂の撤去に要する費用の助成までが精一杯と考えている。

問 随時要望や電話での依頼についての対応状況は。

答 今回の災害復旧工事の内容は、損傷した施設の機能復旧が原則で、施設の規模能力を大きくすることは困難である。復旧については、随時要望や電話での依頼内容は加味して、損傷部分の修繕、水路の堆積土砂撤去等の工事を順次行っている。

今回の災害が原因で、根本的な

施設の改良を要する工事については、新年度予算に組み込み、要望していきたいと考えている。



豪雨被害の様子

ペット・小動物の診療体制

問 休日・夜間診療について、輪番制を実施する考えは。

答 夜間や日曜日に診療されている病院もあるが、各々の獣医師の考え方や企業努力により運営されている状況である。県獣医師会でも、輪番制による休日診療は考えていないとのことである。そのため、本市においても、夜間や休日診療体制の整備は、現在のところ考えていない。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



渡辺 孝男
議員

災害対策

問 7月14日に、時間雨量89.5

mmの集中豪雨が発生した。補助金等を含め、多額を投じて雨水対策を行った、西中学校、東総合グラウンド等の整備の効果は確認されたか。

答 当日は、美濃加茂観測所の観測史上最大となる89.5mmを記録した。

加茂川総合内水対策事業で設置した雨水貯留施設の現場状況を確認し、降雨データに基づき検証した結果、西中学校では、グラウンドに約1,590㎡の雨水が貯留された。

山之上小学校では、放流桝の流下状況から、計画貯留量の約770㎡が貯留され、東総合運動場においても、同様に計画貯留量の約850㎡が貯留されたという検証結果となった。

いずれの施設も、排水を完了するまでに5時間から9時間程度の時間を要し、時間をかけて排水し、河川や雨水幹線排水路へ一気に流れ込む時間を遅らせることで、浸水被害発生を抑制、軽減する効果があったと考えている。

問 災害発生時の避難所では、

様々な情報を得る手段としてWiFi等を使い、情報収集・発信等が行われていたことが報道されているが、本市避難所のWiFi整備状況は。

答 避難施設40カ所のうち、整備がされている施設は、生涯学習センター、プラザちゅうたい、東図書館、文化の森の計4カ所である。他の避難所も、順次検討しながら進めていきたい。

問 避難所の室温管理等の環境対策計画は。また、他自治体の状況は。

答 可茂管内の自治体でも空調設備が整っている施設は、自治体管理の公民館等に限られており、小学校等の公共施設の体育館は未整備である。

県下の自治体においても状況は同様であることから、本市としても、避難所である体育館に空調設備を設ける計画は持っていない。大規模な災害が発生した場合、現在のところは、大型エアコンのリースや大型扇風機の使用、氷柱の設置、お茶や飲料水、冷却ジェルシートの配布等の対応を考えている。



渡辺 益巳
議員

高齢ドライバーの事故防止

問 近年、高齢者が占める事故の

割合が高く、加害者になるケースも増えている。原因として、身体機能の低下、アクセルとブレーキの踏み間違い、道路の逆走などがあり、重大事故が起きている。市としての対応策は。

答 現在、市内の高齢者免許保有者数は8,028人であり全体の約21%となっている。市では、運転免許証の自主返納の取り組みを行っており、今年4月から自主返納支援事業として、警察の返納証明書カードを取得されると、あい愛バスに無料で乗車できる特典がある。

問 高齢者先進安全自動車購入補助制度の補助対象件数は。また、市民に対する本制度の周知方法は。

答 市内に住民登録のある65歳以上の方を対象に、車両価格300万円以下の衝突被害軽減ブレーキが搭載された車両を対象とし、一人一回限り2万円の補助を行っている。8月末現在で、この制度の利用は49件であった。PRとして、市内の販売店には文書、市民へはチラシを配布している。

食品ロスの削減

問 全国では「もったいない、食

べられる」食品が年間632万吨(農林水産省平成25年度推計)も捨てられている。食品ロスに対する市の取り組みは。

答 各家庭の台所、冷蔵庫で眠っている賞味期限間近の食品・缶詰などを市民団体の協力を得て回収し、11月に開催される環境フェアで参加者の皆様に配布する取り組みを考えている。また、食品ロス削減を目的とする料理教室を開催し、多くの方に受講いただいた。

3010運動推進事業についても、補正予算でPRチラシの配布や運動に協力いただける飲食事業店への啓発グッズの購入等の経費を計上した。今後も、日本人の文化として根付いている「もったいない」という言葉を大切に食品ロス削減に努めたい。



食品ロスに関する取り組み

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



前田

孝員 議員

社会医療法人厚生会新病院建設

問 「美濃加茂メディカルシティ構想」の具体的な内容は。

答 最先端の医療を受けられる医療センターの建設、医療相談や健康増進などの予防も含め、医療福祉の先進的な一大拠点としたまちづくりを、官民連携して行う計画である。

問 市長は共同会見にて、医療をキーワードにした地域活性化につながりを取り組みをすると発言しているが、どのような取り組みか。

答 予防医療の視点から、健康増進・疾病予防等を目的とした機能を有する施設や機会についても協議するなど、皆様が、健康で生き生きと生活できる取り組みを考えている。

問 病院建設に伴い周辺地域の交通量増加が予想されるが、道路整備・交通安全の検討は。また、地元への説明会は。

答 具体的な計画が示されていないが、市は当該施設整備に併せて、周辺道路の整備や地元への説明等も含め、協議・連携していく。

問 補助金の申し出はあるか。申し出は聞いていない。

7月14日の豪雨及び台風5号の被害状況と防災

問 道路・河川・農地等の被害件数は。

答 7月14日の災害により、復旧被害が必要な件数は、道路12件・河川3件・農業用施設16件・農地等14件の合計45件であった。なお、台風5号による被害はなかった。

問 避難所に、食糧・飲料水・毛布などの備蓄品が常備されていない施設があるが、常備するべきではないか。

答 各支所の防災備蓄倉庫や大型備蓄倉庫には保管しているが、避難所で使用する備蓄品等は、施設ごとに配備できていない。避難所用備蓄倉庫の設置も含めて、順次整備する計画を進めている。

問 立木・植え込みに関する市民からの申し出件数は。

答 昨年度は21件あり、そのうち17件を処理した。

問 通行の妨げになるケースもあるが、安全対策は。

答 原則、所有者に対応を依頼しているが、対応困難な場合は同意を得て、必要最小限の範囲を伐採している。



金井

文敏員 議員

健康増進施策

問 元気で長生きしたい！誰もがそんな思いを持っていると思う。平均寿命は延びているが、健康寿命とのギャップが少しずつ開いている。歩行など日常生活における身体活動は、寝たきりや死亡を減少させる効果があると示されている。この取り組みを進めるための環境整備やインセンティブ^{*}の向上策、ウォーキングポイント制度の導入の考えは。

答 より多くの市民が、身近な運動として、歩行に取り組みむきっかけや継続支援となるインセンティブについて、周知方法も含め研究して行きたい。

局地的大雨の対策

問 本年1月に、避難勧告に関するガイドラインが改定され、避難情報の名称なども変更されたが、具体的な影響は。

答 昨年の台風10号による水害の際に、高齢者施設において「避難準備情報」の意味するところが伝わらず、適切な避難行動がとられ

なかったことから、高齢者等が避難を開始する段階であることを明確にするなどの理由から「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」に、「避難指示」が「避難指示(緊急)」に名称変更された。

問 国内では、雨量が一日100mm以上となる日数が、増加傾向にある。近年と20世紀初頭の30年間とを比較すると、その日数は約1.2倍に増えたといわれている。その雨も最近では、大気の状態が不安定な場合は、積乱雲が発達し、強い雨をもたらし、局地的に数10mm程度の大雨となるが、その局地的大雨に対する対策は。

答 最近の局地的大雨は、雨が急に強く降り、数10分の短時間に、狭い範囲に数10mm程度の雨をもたらす。また、気象庁の「高解像度降水ナウキャスト」等を利用することで、リアルタイムに雨雲の様子に分かるようになったが、予測が難しい局地的大雨も多くある。今後も、情報収集に努めるとともに、気象台との連絡を行うなどして、市民の安全確保を優先した情報発信に努めたい。

^{*}インセンティブ：意欲向上や目標達成のための刺激策

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



牧田 秀憲
議員

民生児童委員

問 今年で創設から100年の歴史を持つ民生委員の制度であるが、全国的にも60代以上が8割を占めるなど、委員の高齢化が深刻である。制度存続のため、人員をどのように確保しているのか。

答 任用基準は75歳未満となっており、60代の方は十分活躍できる年代と考えている。現在は、定年退職後の方も多いため、平均年齢は高いが、十分活躍できる方を選出していただいている。後継者についても、地元で精通し、活動できる方を選出していただいている。

問 緊急時の災害弱者の情報共有は、どの様になっているのか。また、その際の民生児童委員の対応状況は。

答 避難行動要支援者台帳を、民生児童委員と情報共有し、日頃の見守りに活用いただきながら、災害時の対応をお願いしている。台風通過時には、福祉課と会長とが連絡を取り合い、全委員に周知し、訪問や声かけ、避難案内などを実施している。

問 見守りや生活相談など委員の負担は大きい。負担を減らす必要性など具体案は。

答 民生委員法では120(280世帯)に民生児童委員1名の選出を基準としているが、地域の実情を踏まえた弾力的な定数設定が認められているため、本市でも1自治会の世帯数や行動範囲の面積などから、基準以上・以下の地区があるのが現状である。なお、昨年12月の改選期には、100名から102名に増員した。改選期前には地区ごとに要望を伺い対応しているが、過度な負担のないよう調整を考えている。

日常生活支援総合事業

問 介護予防・日常生活支援総合事業の現状は。

答 今年度から、基準緩和型サービスとして、一定の研修を受けることで訪問介護のサービスが行える事業等を進めている。

問 地域包括ケアシステムの現状は。

答 介護予防教室を修了された方が、自主グループを立ち上げ、継続して介護予防に努め、地域サロン協力のもと「地域づくり」「仲間づくり」を兼ねた高齢者の社会参加の場が作られている。



酒向 信幸
議員

鳥獣被害対策

問 鳥獣被害対策の取り組みを総合的かつ効果的に推進するため、ハード面・ソフト面で、交付金を活用する必要がある。今後、新たな展開や強化すべきことは何か。

答 交付金の活用については、主にネット柵や檻・罠を購入し設置するなど、捕獲の推進を今後も継続していく。また、捕獲の効率性を高めるため、被害多発箇所への鳥獣の把握とその内容に合わせた捕獲ができるよう、センサーカメラの購入も検討している。

問 今年度、予算化された鳥獣被害対策実施隊の活動内容及び効果は。また、ドローンでの調査の進捗状況は。

答 猟友会に、猿の多い地域の朝夕の巡回、追い払いや捕獲の実施、休日や夜間の緊急捕獲を委託している。

また、岐阜大学と連携し、地域の方々とともに、ドローンを活用した猿の追い払い活動の実証実験を予定している。

小規模特認校制度

問 来年度に向けて、紹介チラシ・ポスターの掲示や全体説明会の開催案内文書の配布、広報ホームページへの掲載もあつたが、反応や今後の取り組みは。

答 6月の伊深小学校「ほほえみ参観日」を3人の年長児童の保護者が見学され、説明会の日程についての問い合わせもいただいた。また、9・10月には、伊深・三和小学校ともに、ほほえみ参観日のほか、小学校の参観、体験入学に適宜対応した。10月からは、受付を開始し、11月の面接にて通学可否を確認し、12月に決定する予定である。

また、今年度4月から、両校に各1人市費による常勤講師を加配し、小規模校での少人数教育を行っており、今後は、児童一人一台タブレット端末を貸与し、ITC教育推進のモデル校とするよう考えている。

引き続き、両校の教育の特色を引き出し、PRにも努めていきたい。



小規模特認校の説明会(9月20日ほたるの広場)

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



柘植 宏一
議員

公共施設等の総合管理

問 公共施設総合管理計画では保育園の施設更新が優先順位2位として位置づけられている。耐震基準を満たしていない下古井交流センターの建て替えも喫緊の課題となっている。古井第二保育園との複合施設化も議論に上がっていたが、個別計画策定の進捗状況と概要は。

答 下古井交流センターについては、来年度、解体設計を行い、再来年度に解体工事を計画しており、補完施設として、生涯学習センターや文化会館を考えている。古井第二保育園は、平成21年度に耐震補強を行っているものの老朽化が激しく、早期の対応が必要である。保育園の施設整備については、保育園単体ではなく、市全体をみて、再配置及び統合も視野に入れ、進めていく。

総合福祉会館の利用拡大

問 可児市福祉センターは、指定管理のもと、年末年始以外は、夜10時まで利用可能としている。公共施設等総合管理計画の

基本方針から考えても、本市も総合福祉会館の利用拡大を図るべきではないか。

答 総合福祉会館は、高齢者やボランティア、福祉関係団体が一体となつて利用できる地域福祉活動の拠点として利用されている。現状でも、利用者は増加傾向にあるが、利用対象者を拡大する考えには至っていない。開館時間・休館日についても、利用拡大の要望は特に聞いていない。

問 あい愛バスの運行拡大というインフラ投資もあり、今後も限られた施設の有効活用が重要と考えるが、市長の考えは。

答 図書館、体育館も含め、利用拡大を進めていく。総合福祉会館についても、指定管理者との協議を通して検討していく。



下古井交流センター



高井 厚
議員

優良農地の維持・向上に向けて

問 農業と言えば米作りが軸となるが、その将来に不安を抱く人は少なくない。まずは担い手問題である。後継者がなく耕作を断念する人、知り合い・団体・企業に委ねる人が出ている。耕作放棄地は荒れていくか、転用に向かつていく。畑も大切な農地だが、その状況の悪さは田以上かもしれない。作物を作らない畑が目につき、そこに繁茂する草をトラクターが巻き込んでいく。行政の一步進んだ働きかけを願う。

問 市内の農地面積(田・畑別)は10年前と比べてどうか。

答 昨年度の実地調査の結果、田830ha、畑814haであった。平成19年度は、田861ha、畑887haであったので、市内の農地として、田は31ha(約4%)、畑は73ha(約8%)減少している。

米の作付面積の現状は。

答 米の安定的な生産のため、経営所得安定対策事業で把握している米の作付面積は、471haである。同事業が始まった平成25年度の面積は512haであったので、

41ha(約8%)減少している。
問 農業の保全・管理を市ではどのように把握しているか。

答 以前より問題点としているが、本市は比較的小規模な農地が多く、また、農地は財産という考えの所有者も多い。そのため、農地の集約が進まず、農業の大規模化や効率化が進まない状況である。また、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、耕作放棄地など十分管理されていない農地が増加している。

問 集落営農組織づくりの動きは、本市にあるか。

答 三和町川浦地区にて、地域の農業を守り継続していく手法の一つとして、集落営農組織づくりの可能性について、地域の方々とJA、県、市も交えて検討している。

問 多面的機能支払交付金に、市単独での上乗せの考えは。

答 現在、農業用資源保全管理活動補助金を設置し、農業環境保全に支援する体制をとっており、交付金へのさらなる上乗せは考えていない。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



片桐 美良 議員

新庁舎建設

問 市民に庁舎建設の意見を求める際、色々な事業手法があることを説明した上で、市民からの意見を求めるべきでないか。従来型(新設)ありきで進んでいないか。

答 多くの市民から広く純粋な意見や夢を求めることに徹している。今後は、従来型にとらわれず、いくつかの手法が示されるものと考えている。

問 建設用地の取得費が必要な場合の費用についても話題にしているか。

答 広く意見を求めることを基本としており、候補地や事業の選定の中で、議論が進むものと考えている。

問 社会医療法人厚生会に売却した土地は建設候補地として考えられないか。

答 第2回ワークショップにて、庁舎がある場所の一つとして選定されたが、第3回ワークショップにおいて、この土地は既に売却した旨を説明し、参加者の検討により除外された。質問の趣旨の認識は持っていない。

あい愛バス事業

問 利用促進のため、地域あい愛バスを育む会(仮称)の立ち上げを検討されているが、どの様な方にお願ひされ、その活動内容は。

答 バスを利用される方をはじめ、地域住民の方で組織された団体や積極的に協力いただける地域住民の方が中心となる組織化を検討したい。活動としては、乗降の手伝いなどの支援やバス車内での歴史・観光案内、待合環境の整備等の活動をしていただきたいと考えている。

問 来年度以降の予算は。

答 運行事業者と3年間の協定で、来年度は1億2,350万円を見込んでいます。

食のブランド事業

問 事業推進の現状と課題は。

答 これまでは、商品開発が大半であった。今後は、商品開発と販路をリンクさせた展開が必要と認識している。

問 スイーツのまち美濃加茂として本格的に発信する考えは。

答 スイーツのまちというイメージは、本市の知名度を高める貴重な資源と考えているので、今後も積極的にそのイメージの下でPR事業を展開していく。



坂井 知足 議員

避難情報・避難勧告等の発令と周知方法

問 災害の発生が想定される時、また、災害が迫った時などに発令される避難準備情報や避難勧告、避難指示の発令基準と周知方法は。

答 行政からの避難情報には、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」「避難指示(緊急)」があり、本市の場合は、水害や土砂災害の発生の恐れのある時が対象となる。発令基準については、水害は木曾川、加茂川、川浦川等の河川に設置された水位観測所における水位により判断している。土砂災害では、大雨警報(土砂災害や土砂災害警戒情報の発令等により判断している。また、これらの周知については、防災行政無線のほか、ホームページ、すぐメール、ツイッター、FMらら等を活用している。

集落営農の促進と企業の農業への参入

問 農業後継者(担い手)が不足する中で、これからの農業経営の一つとして集落営農があるが、

本市の現状は。また、近年の会社法人等企業の農業参入の状況は。

答 集落営農については、現在、市内初の取り組みとして、三和町川浦地区において、地域住民とJA、県、市の間で話し合いを始めたところである。また、企業の農業への参入については、ゴルフ場経営企業が、農業法人を立ち上げ、市の認定農業者となり、山之上町等で農業経営をしている。

空き家バンクの創設と運用

問 「空き家バンク」とは、空き家に関する情報を登録し、市のホームページ等で公開するものであるが、本市の本制度創設に向けた取り組みと、これによる今後の期待は。

答 空き家バンクの創設と運用については、空き家等の解消のみでなく、地域の活性化につながる仕組みとして有効であると考えている。現在は、制度の内容を協議しているところで、今後は、制度の運用を調整し、今年度中に創設したいと考えている。併せて、今後の本制度を活用し、移住定住につなげたいと考えている。

9月				8月			
28日	27日	26日	15日	30日	29日	28日	25日
岡山県笠岡市議会行政視察 シルバー人材センター要望受付	岡山県笠岡市議会行政視察 審議会	共同募金会美濃加茂市支会監査 共同募金会美濃加茂市支会理事会 予算決算特別委員会 市立小学校及び中学校通学区域 審議会	共同募金会美濃加茂市支会監査 共同募金会美濃加茂市支会理事会 予算決算特別委員会 市立小学校及び中学校通学区域 審議会	市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)	市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)	市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)	市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)
31日	29日	28日	26日	17日	16日	15日	14日
文教民生常任委員会協議会	市防災訓練	市文芸祭表彰式	新庁舎建設特別委員会 議会運営委員会	可茂衛生施設利用組合新火葬場 整備運営事業建設工事安全祈願祭 議会だより編集委員会 市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	美濃加茂市・富加町中学校組合議会 (富加町)	おん祭MINOKAMO秋の陣	市戦没者追悼・平和祈念式
29日	28日	26日	21日	20日	19日	18日	17日
市防災訓練	市文芸祭表彰式	新庁舎建設特別委員会 議会運営委員会	市社会福祉大会	市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	可茂衛生施設利用組合新火葬場 整備運営事業建設工事安全祈願祭 議会だより編集委員会 市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	可茂衛生施設利用組合新火葬場 整備運営事業建設工事安全祈願祭 議会だより編集委員会 市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会
1日	30日	29日	28日	27日	26日	25日	24日
あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	議会運営委員会 議会だより編集委員会 市シルバー人材センター設立 30周年記念式典	議会運営委員会 議会だより編集委員会 市シルバー人材センター設立 30周年記念式典	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
4日	3日	2日	1日	31日	30日	29日	28日
新庁舎建設特別委員会 県国民健康保険運営協議会会長 連絡協議会(岐阜市)	可茂地域一部事務組合議会臨時会 学校給食センター運営委員会 おん祭MINOKAMO夏の陣 県消防操法大会(瑞穂市) 市スポーツ少年団大会 あじさいまつり写真コンクール表彰式	予算決算特別委員会分科会 可茂地域一部事務組合議会臨時会 学校給食センター運営委員会 おん祭MINOKAMO夏の陣 県消防操法大会(瑞穂市) 市スポーツ少年団大会 あじさいまつり写真コンクール表彰式	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
5日	4日	3日	2日	1日	31日	30日	29日
県国民健康保険運営協議会会長 連絡協議会(岐阜市)	新庁舎建設特別委員会 県国民健康保険運営協議会会長 連絡協議会(岐阜市)	予算決算特別委員会分科会 可茂地域一部事務組合議会臨時会 学校給食センター運営委員会 おん祭MINOKAMO夏の陣 県消防操法大会(瑞穂市) 市スポーツ少年団大会 あじさいまつり写真コンクール表彰式	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
6日	5日	4日	3日	2日	1日	31日	30日
市木曾川右岸用水土地改良区 臨時総代会	県後期高齢者医療広域連合議会 定例会(岐阜市)	予算決算特別委員会分科会 可茂地域一部事務組合議会臨時会 学校給食センター運営委員会 おん祭MINOKAMO夏の陣 県消防操法大会(瑞穂市) 市スポーツ少年団大会 あじさいまつり写真コンクール表彰式	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	31日
花フエスタ記念公園「秋のバラまつり」 「モロッコデー」開会式(可児市)	県社会教育推進大会可茂地区 社会教育振興大会全体会	予算決算特別委員会国会对策委員会 (東京都)	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日
議会運営委員会 国道41号美濃加茂・下呂間強靱化 推進同盟会定期総会(七宗町)	市防災会議及び国民保護協議会 予算決算特別委員会事業評価市長提言	全国市議会議長会国会对策委員会 (東京都)	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日
洞戸川辺間主要地方道改良整備 促進期成同盟会	市戦没者追悼・平和祈念式	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日
市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)	可茂衛生施設利用組合新火葬場 整備運営事業建設工事安全祈願祭 議会だより編集委員会 市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日
洞戸川辺間主要地方道改良整備 促進期成同盟会	市戦没者追悼・平和祈念式	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会
12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日
市議会第3回定例会(9月22日) 議会だより編集委員会 美濃加茂市富加町中学校組合議会 臨時会(富加町)	可茂衛生施設利用組合新火葬場 整備運営事業建設工事安全祈願祭 議会だより編集委員会 市健寿連合会福祉大会 市議会第1回臨時会 市社会福祉大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会	あい愛バス再編運行記念式典 県老人クラブ軽スポーツ中濃 ブロック大会

可決された意見書

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

道路は、日常生活をはじめ経済・社会活動、防災対策等を支える重要な社会基盤となっている。本市は、古くから交通の要衝として栄え、近年では、東海環状自動車道や国道の整備により、全国へのネットワークの構築や地域連携が進むなど、道路整備により絶大なストック効果が生み出されている。また、毎年のように発生する自然災害等の復旧・復興に大きな役割を担っている。

本市においては、豊かで安心・安全な地域づくりのために、道路整備の更なる推進が必要不可欠となっている。

よって、国においては、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の高上げ措置については、平成30年度以降も継続するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年8月30日

岐阜県美濃加茂市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

全国森林環境税の創設を求める意見書

本市の森林面積は、2,965ヘクタールで、全体面積の約40%を占めている。森林は、木材の供給だけでなく、人々の生活に欠かせない水源としての機能や、土壌を維持し土砂災害等から里を守るなど公益的機能を有するとともに、二酸化炭素を吸収し固定する機能があり、地球温暖化の防止にも貢献している。

また、本市は、「孫子の代まで住み続けられるまち」を目指し、平成25年度に「里山千年構想」を策定し、平成26年度から岐阜県の「清流の国ぎふ森林・環境税」も活用しながら、市内すべての里山を昔の里山風景に再生・維持管理することで、持続可能な里山整備を目指しているところである。

現在、国においては、市町村主体の森林整備を進めるための新たな財源として「森林環境税(仮称)」の創設に向けて、検討が進められている。

よって、国におかれては、地方が継続的に森林の整備・保全に取り組めるよう、次の事項について強く要望する。

記

- 1 恒久的かつ安定的な財源の確保に向けて、全国森林環境税を早期に創設すること。
- 2 創設に当たっては、国・都道府県・市町村の森林整備の役割分担を明確にするとともに、税財源のあり方を適正に整理し、本県が既に導入している森林環境税との関係についても、二重課税とならないよう、十分に配慮すること。
- 3 事業主体となる市町村の体制整備に向け、十分な支援を行うこと。
- 4 間伐のみでなく、境界の明確化や路網整備、間伐材の利用など、幅広く使途に加えるよう検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月22日

岐阜県美濃加茂市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、
農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

報告

行政視察を

行いました

文教民生常任委員会と企画建設常任委員会が、先進的な取り組みをしている自治体等を訪問し、研修を行いました。

文教民生常任委員会

今後の学校教育、郷土の偉人、高齢者福祉について視察

7月10日

新しい総合事業の取り組みについて（横須賀市役所）

横須賀市都市部では高齢化が進み、昨年からの介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。事業は、介護予防と生活支援の2つで、要介護の重度の方は専門職の方に、要支援の方は身近な方に支援を受け、地域で支え合いをつくらせていくもので、同時に地域づくりも目指すものです。

今年度から「横須賀市住民主体型訪問サービス」として、地域の有志が日常生活の困りごとを有償で手助けする活動をされています。

た。行政もそういった活動の交付金等、補助的に事業を支えています。本市も同様に高齢化が進んでおり、このような支援の体制の確立が急務と感じました。



7月11日

道徳科について（川崎市浅田小学校）

来年度から道徳が教科化されることに伴い、昨年度から研究推進校として実施されている学校を視察しました。実施にあたり、児童

の実態を教員同士で話し合い、課題を見つけ、その課題が解決できるような内容で取り組むこととされました。

また、小規模な学校ということもあり、子どもたちのコミュニケーション能力を高めることで、日常生活を通して、様々な人との関わりを大切に、他者理解を高めていくことを願って、授業を展開されていました。

取り組みの最初一年間ほどに大きく大変だったと伺いましたが、授業内容の工夫や指導案検討会、研究会、授業の実施など積極的な取り組みが行われていました。



坪内逍遙博士・津田左右吉博士について（早稲田大学）

本市出身の偉人である両博士やゆかりのある人物について学芸員から説明を受け、會津八一記念博物館や大学の初代総長である大隈重信記念室を視察しました。

坪内逍遙博士記念演劇博物館、

津田左右吉博士記念室へも伺い、両博士に関係する品々や展示品、現在も利用されている図書等を拝見することができ、偉大な足跡を改めて確認できました。



7月12日

義務教育学校について（横浜市霧が丘学園）

義務教育学校とは、小中学校を一つの組織としてしている学校です。霧が丘学園は、宅地開発に伴い人口が増え開校されましたが、平成期になって子どもが減り、統合して小中一貫校となりました。児童生徒の交流により、相互に良い効果が生まれており、自己有用感が育成される環境でした。

教員も、授業の乗り入れの時間割の工夫や小学部の教員が中学部の部活動に参加、指導を行うなどの取り組みがみられました。



企画建設常任委員会

災害時の対応、地域産業の活性化について視察

7月11日

地方創生に関する取り組みについて(岩手県一関市役所)

一関市では、地方創生と人口問題は切り離して考えることはできないとして、その中でも地域の課題である人口減少は、自治体が地域にあつた施策をバランスよく実施し、元気で活力あるものとされています。安定した雇用を創出する施策を行い、一方では若い子育て世代に手厚い支援をすると同時に、高齢者にやさしい対策を行うことで人口減少を緩やかなものとする等、しっかりと着実に施策を推進されています。



7月12日

災害時の後方支援について(岩手県遠野市総合防災センター)



遠野市は内陸部に位置し、東日本大震災時には、後方支援拠点として重要な役割を發揮されました。震災前から独自で「後方支援拠点施設整備構想」をまとめられ、周辺自治体と協議を重ね、防災訓練等も行われました。

震災当日は、震度5強の揺れを観測し、本庁舎中央館は全壊、市内の50カ所の避難所に2千人を超える避難者があつたにもかかわらず、運動公園等の開放を指示し、午後5時40分には各援助隊等を受け入れ、災害時の後方支援拠点として、機能を發揮されました。

自市だけでなく、多くの周辺自治体と協力する努力は惜しんではならないと思いました。

災害時の対応(BCCP・復旧作業)について(岩手県宮古市 三陸鉄道本社)

発災から早期復旧をとげた、三陸鉄道(株)の、初期対応から復旧までの活動について、震災発生当時から対応された職員に話を伺うことで、災害時の対応を参考とする目的で視察しました。被災した事業者の生の声を聴き、やはり事前準備の必要性和素早い対応が早期復旧につながると思いましたが、同時に、復興にはまだまだ多くの時間が必要であることを認識しました。

本市も長良川鉄道の運営に関わっていることから、今一度災害対応等に対する会社としての備えを確認するとともに、事前準備等へのバックアップは必要であると感じました。



7月13日

起業化支援センター・ビジネスインキュベーターについて(岩手県花巻市起業化支援センター)



このセンターは、市が企業誘致政策に加え、新たな振興策が必要と考え、平成8年度に開設されました。企業誘致と内発型振興策の二本柱を有機的に連携した産業振興施策が展開されています。

センターでは、工業団地の近くに貸し工場、3Dプリンターや3次元測定器など最新の設備を所有し、工業団地に進出する企業に有料で貸し出し支援を行っています。また、貸し工場は最長5年間借りる事ができ、センターの中にビジネスインキュベーター施設もあり、2階は貸部屋、1階には談話室、ジョブカフェを設置し若年者の就職支援も積極的に行われていました。

活動 ピックアップ

— 議会による事業評価 — 今年度の提言を行いました。

市議会では、昨年度から「予算決算特別委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。



今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、10事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言しました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映されることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っていきます。

〈平成29年度 議会による事業評価 提言一覧〉

事業名	評価	提言の主な内容
包括的支援事業	拡充	・市民に包括支援センターの更なる啓蒙・アピール ・更なる対象者の掘り起こし
子育て支援事業	拡充	・子育て包括支援センターの創設 ・子育て支援サポーターを養成し、民間活用を推進 ・インターネットでの子育て支援施策を検索しやすくする ・カミーン事業の充実
自治会活動推進事業	拡充	・まちづくり協議会そのものの意義・役割など、PRの工夫・充実 ・まちづくり条例の早急な策定
MT夢クラブ21活動推進事業	廃止	・行政から切り離し、新たな枠組みのもとで団体独自の活動に任せる ・子どもの参加する活動団体に対する個別の優遇措置の継続・拡充
放課後児童健全育成事業 学童保育待機者解消事業	拡充	・市民全体の放課後居場所事業の拡大 ・地域の大人と学び、コミュニケーションが図れる場所の創出
市内観光推進事業	継続	・観光資源の掘り起こし ・事業を統合し、より効果的な施策を
学校給食地産地消推進事業	拡充	・生産者が安心して生産できる体制づくり ・地元産の使用促進
空き家対策事業	継続	・空き家対策計画の推進 ・税の軽減と事業の周知対策 ・空き家をつくらない政策の推進
防災意識高揚事業	継続	・過去の災害の検証と対策 ・自主防災組織の強化・充実の働きかけ ・参加型研修会を開催し、防災教育を推進 ・災害ボランティアへの対応訓練や救援物資の受け渡し訓練などの実施
シティプロモーション事業	継続	・市内出身著名人の顕彰及び連携を図り、全国に発信 ・「夕雲の城」などの大河ドラマ化

編集後記

9月22日に閉会した今回の定例会では、自然災害に関し、その防災や事後対応などについての一般質問が多くありました。7月14日の豪雨災害、8月の台風15号の被害と連続し、台風18号も本市に影響を与えました。暴風、ゲリラ豪雨、土砂崩れ、河川の氾濫、地震など、他人事で済ませてはなりません。

防災や減災対策を充実させながら、自助・共助・公助という事後対応も真に機能するようにしていかななくてはと、意を新たにしました次第です。

さて、10月からは新「あい愛バス」が運行を始めています。市民の皆さんに可愛がられ、親しみを持たれるバスとなっていくことを願っています。

高井 厚

次の定例会の予定
平成29年市議会第4回定例会

12月1日(金) 初日
11日(月) 一般質問
12日(火) 一般質問
13日(水) 質疑
21日(木) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

次の議会だよりは、平成30年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

